



静岡市長

田辺信宏

世界水準の静岡市づくり
～3年間の総括、そして集大成に向けて～

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちあふれる新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から、市政に対し格別なる御高配を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本市産業経済の振興に御尽力いただいていることに対し深く敬意を表する次第でございます。

さて、私は、昨年(2017)の2月議会での施政方針において、世界水準の静岡市づくりに全力を尽くすことを誓いました。私が考える世界水準の都市とは、暮らす人々が「安心感」をもって生活することができ、訪れる人々が「満足感」をもつてひとときを過ごすことができる都市です。そして、その実現のために最優先で取り組むべ

きものとして、「5大構想」と呼ぶ施策群を掲げ、昨年その推進に力を注いでまいりました。

特に、「5大構想」のうちの3つの都心づくりにおいては、歴史文化拠点としての静岡都心にあつて、その中核をなす歴史文化施設が設計段階に入り、いよいよ2021年度の開館に向けた取組が本格化してまいりました。また、教育文化拠点としての草薙・東静岡副都心では、「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」が昨年5月にオープンし、スケートボードがオリンピック種目となったことと相まって、ますます活況を呈しております。さらに、海洋文化拠点としての清水都心では、客船の寄港数の倍増や、海洋文化拠点施設の基本構想を策定するなど、国際海洋文化都市

として、その形が現れつつあります。

本年は、これまでの3年間を総括しつつ、来るべき第3次総合計画の後の4年間につなげていくための集大成となる重要な年になるものと考えております。5大構想を筆頭とする政策・施策をこれまで以上に推し進めるため、大きな夢と希望を貴会議所の皆さまと連携しながら、さらなる決断力とスピード感をもって取り組んでまいりますので、これからも皆さまの御理解を賜り、今後とも市政への一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、静岡商工会議所のさらなる御発展と会員の皆さまの御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。まして、新年の挨拶とさせていただきます。